



総量削減専門委員会における検討の進め方（案）



1. 検討事項及び検討の流れ

- 汚濁負荷や水環境等の推移・現状等に係るデータの分析、関係機関へのヒアリングによる取組の実施状況の把握を通じて、現状及び課題を整理するとともに、水質将来予測等を実施。
- それらの内容を踏まえ、第10次水質総量削減の在り方を検討する。

令和6年12月～

第10次水質総量削減の検討の進め方、水環境の現状に係る整理
※第1回総量削減専門委員会

水質総量削減制度に係る取組の実施状況（関係者ヒアリング）
※第2回総量削減専門委員会以降、数回に分けて実施

現状・課題の整理、水質将来予測等

第10次水質総量削減の在り方について（答申骨子案）の審議

第10次水質総量削減の在り方について（答申案）の審議

令和7年夏～秋頃

パブリックコメント

令和7年秋～冬頃

第10次水質総量削減の在り方について（答申）

2. ヒアリングの項目及び対象（1/2）

- 水質総量削減制度に係る取組の実施状況について、関係機関等からヒアリングを行う。

1. 想定ヒアリング項目

- ① 下水道、浄化槽、農業集落排水施設等の生活排水処理施設の整備・高度処理化、再生水の利用や合流式下水道の越流水対策
- ② 産業系の指定地域内事業場における水質総量削減の取組
- ③ 小規模事業場及び未規制事業場に係る排水規制や汚濁負荷の削減指導、下水道の整備による処理等の対策推進
- ④ 環境保全型農業の推進、家畜排せつ物の適正管理
- ⑤ 養殖漁場の環境負荷低減、環境負荷の少ない持続的な養殖業の推進（自然にある栄養塩類の活用等）
- ⑥ 藻場・干潟の保全・再生、里海づくりの推進
- ⑦ 湾奥部等における流況改善対策、浚渫や覆砂等の底質改善対策、窪地の埋戻しによる水環境改善
- ⑧ 新たな護岸等の整備や既存の護岸等の補修・更新時における環境配慮型構造物の採用
- ⑨ 栄養塩類の管理
- ⑩ 情報発信、普及・啓発等を通じた広範な理解と協力の獲得
- ⑪ 地域の実情に応じた多様な主体の連携
- ⑫ 海域における気候変動の影響の現状やこれに対する適応策、調査・研究
- ⑬ これらの取組を進めるに当たっての課題

2. ヒアリング対象

関係省庁、産業界、関係都府県、地域で活動する環境団体

3. ヒアリング項目及び対象（2/2）

ヒアリング項目		関係省庁	産業界	関係都府県	環境団体
①	下水道、浄化槽、農業集落排水施設等の生活排水処理施設の整備、再生水の利用や合流式下水道の越流水対策	○			
②	産業系の指定地域内事業場における水質総量削減の取組		○		
③	小規模事業場及び未規制事業場に係る排水規制や汚濁負荷の削減指導、下水道の整備による処理等の対策推進			○	
④	環境保全型農業の推進、家畜排せつ物の適正管理	○		○	
⑤	養殖漁場の環境負荷低減、環境負荷の少ない持続的な養殖業の推進（自然にある栄養塩類の活用等）	○	○	○	
⑥	藻場・干潟の保全・再生、里海づくりの推進	○	○	○	○
⑦	湾奥部等における流況改善対策、浚渫や覆砂等の底質改善対策、窪地の埋戻しによる水環境改善	○		○	
⑧	新たな護岸等の整備や既存の護岸等の補修・更新時における環境配慮型構造物の採用	○		○	
⑨	栄養塩類の管理	○	○	○	
⑩	情報発信、普及・啓発等を通じた広範な理解と協力の獲得	○	○	○	○
⑪	地域の実情に応じた多様な主体の連携	○	○	○	○
⑫	海域における気候変動の影響の現状やこれに対する適応策、調査・研究	○	○	○	
⑬	これらの取組を進めるに当たっての課題	○	○	○	○ 3

(参考) 第9次水質総量削減に係る経過

令和2年2月	第9次水質総量削減の在り方について（諮問） 総量削減専門委員会の設置
令和2年6月	専門委員会第1回 ・ 水質総量削減制度の概要と検討の進め方について ・ 水質総量削減の実施状況等について
令和2年8・9月	専門委員会第2・3回 ・ 水質総量削減制度に係る取組の実施状況について（関係者ヒアリング）
令和2年11月	専門委員会第4回 ・ 汚濁負荷削減対策等の実施状況について ・ 指定水域の水質汚濁メカニズムについて ・ 水質将来予測について
令和2年12月	専門委員会第5回 ・ 水質将来予測について ・ 第9次水質総量削減の在り方についての構成案
令和3年2月	専門委員会第6回 ・ 第9次水質総量削減の在り方について（答申案）
令和3年2月	パブリックコメント
令和3年3月	第9次水質総量削減の在り方について（答申）
令和4年1月	総量削減基本方針策定